

令和6年度 入学試験（公募推薦）問題

国語

受験番号		氏名	
------	--	----	--

○ 指示があるまで開かないこと。

令和5年10月21日(土) 10時05分 ~ 10時50分

【注意事項】

- 試験問題の数は28問です。
- 問題用紙及び解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入してください。解答用紙は下記の記入例をみて記入してください。
- 解答は、指示に従いすべて解答用紙にマークしてください。問題用紙に記載しても無効です。
なお、解答用紙には解答欄が50問までであるので、注意してください。29問以降にマークしても無効です。
- 試験問題にはすべて5つの選択肢があります。質問に適した選択肢を選び、その番号を解答用紙にマークしてください。
なお、2つ以上マークした場合は無効となります。

【解答用紙記入例】

フリガナ	セイ トウ ハナ コ	年	月	日	国語
氏名	聖 灯 花 子	5	10	21	

〔受験番号記入例〕

番 号	問	解 答 欄	問	解 答 欄	問	解 答 欄
32001	1	① ② ③ ④ ⑤	11	① ② ③ ④ ⑤	21	① ② ③ ④ ⑤
	2	① ② ③ ④ ⑤	12	① ② ③ ④ ⑤	22	① ② ③ ④ ⑤
	3	① ② ③ ④ ⑤	13	① ② ③ ④ ⑤	23	① ② ③ ④ ⑤

※番号欄には、右づめで受験番号を記入し、該当部分の数字をマークしてください。

マーク例

良い例	悪い例
●	☑ ○ ●

では私は同僚として、どういう人を仲間にしたいだろうか？ 我こそは魅力ある女性に、などと気負わない、ごく自然にああいいなあ、とひかれるような魅力。働く以上しなければならぬ地味な仕事を果し、日常の挨拶など上下の区別なく、男女の区別なく、気持よくとりかわし、女性でいて女性をバカにしてかかることのない人といっしょなら、ずい分やりよいだろうと思います。

(石垣りん『事務員として働きつつけて』)

【1】 空欄㉑に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。 【解答欄は問 1 2】

- ① ㉑ ①せつなさ ②かなしみ ③はかなさ ④あきらめ ⑤わびしさ
② ㉑ ①あらためて ②ことさらに ③またしても ④はからずも ⑤きせずして

【2】 傍線部㉒㉓の漢字として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。 【解答欄は問 3 4】

- ③ ㉒ ①永達 ②栄立 ③営達 ④栄建 ⑤栄達
④ ㉓ ①至何 ②資難 ③至軟 ④至難 ⑤至南

【3】 空欄*と**に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。 【解答欄は問 5 6】

- ⑤ * ①畏おそ ②軛くびき ③枷かせ ④定さだめ ⑤檻おり
⑥ ** ①役えき ②労ろう ③命めい ④約やく ⑤益えき

【4】 この文章の筆者の詩集として正しくないものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。 【解答欄は問 7】

- ⑦ ①『倚りかからず』 ②『私の前にある鍋とお釜と燃える火と』 ③『表札など』
④『略歴』 ⑤『やさしい言葉』

【5】 波線部のように記した筆者の思いとして、ふさわしいと考えられるものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。 【解答欄は問 8】

- ⑧ ①とにかく、健康で長く仕事を続けることこそが最も大切と、改めてかみしめている、という思い。
②どんな立場にあっても、自分を見失わず、人間としての心を持ち続けることが大切、という思い。
③自分の能力以上を望まず、身の丈にあった仕事をこなすことを忘れてはならない、という思い。
④不平・不満にとらわれず、与えられた場所・立場で真面目に働くこともある意味で幸せ、という思い。
⑤一見、平凡に生きているようでも、常に前を向いて理想を忘れないことこそが大切、という思い。

二次の文章を読んで、後の【6】～【10】に答えなさい。

はじめてフランスへ行ったとき一緒に仕事をした、当時パリ在住の写真家・吉田大朋さんが、私のことを、「はじめてパリへ着いたとたん、まるで東京を歩いているように歩いている。こんな人は、はじめてだ」と、いったそう。

そうかも知れない。そのときの私には時差の感覚もなく、何の違和感もなかった。生来、こうしたことには鈍感なのだろう。

これは、いまにはじまったことではなく、若いころの……たとえば戦争中に海軍へ入ったときなども、私は自分というものを、素早く変化させることができなかった。

つまりは順応性がない。このため、軍隊ではひどい目に遭った。

フランスへは合わせて三度行ったが、そのたびにひどい目に遭わなかったのは、あの国が私の肌合っているからなのだろう。

四年前に行ったとき、大朋さんが「あなたの好きそうな酒場を見つけましたよ」と、連れて行ってくれたのが、旧中央市場の居酒屋「B・O・F」だった。

もう二百年も前からつづいている店で、当主のセトル・ジャンが経営するようになってから五十年にもなるという。私は「B・O・F」が、いっぺんで気に入ってしまった。

モーゴンの地酒とパンとチーズだけの店で、ジャン老夫婦が常連を相手に商売をしている、その雰囲気はたまらなくよかった。

私は毎日のように「B・O・F」へ通い、老主人セトル・ジャンと親しくなったが、大朋さんが私のことを「この人は日本のシムノンだ」などと*をひろげたら、ジャン老人は大きくうなずき、自分の顔が表紙になっているジョルジュ・シムノンの著書を出して来て私に見せた。例のメグレ物の中の一冊だった。

シムノンもパリにいたときは、この店と主人を愛して、夕暮れどきには、ほとんどあらわれたそう。

「ムッシュウ（シムノンのこと）は、いま、スイスで病気になっちゃったらしい」

こういって、セトル・ジャンは眼を瞬いた。

こうなると、この店が尚更なおさらに気に入ってしまい、帰国してから出した映画や旅の本へジャン老人の写真や、私が描いた水彩画の肖像を入れたので、その本を贈ったりした。

そして去年、フランスの田舎をぶらぶらとまわった旅で、パリへ立ち寄り「B・O・F」を訪ねると、店は閉まっていた。ガラス戸越しに見る店内は何やら荒れ果てている。近所で尋ねてみると、何でもジャンは店を売ってしまったらしいという。

私は、自分が小説の舞台にしている江戸の町の居酒屋の老亭主そのものといってよい印象の、セトル・ジャンと再会できぬ残念さを(a)つつ帰国したが、その後、パリ在住のA君から「たしかに店は他人にゆずりましたが、常連がさびしがっているのです、ジャン老はお昼ごろ、二時間ほど店へ出ているそうです」という便りが来た。今年の秋。私は、またフランスの田舎をまわることができた。

先ず、パリへ着き「B・O・F」へ行ってみると、店をゆずり受けた二人の若者のうち、フランス人のルノー君が「ムッシュウのことは、ジャンさんからいつも聞かされています。今日は、もう帰ってしまいました」と、いう。

以前には仲よくはたらいっていた古女房のポーレットが階段から落ちて腰を痛め、それからずっと寝込んでしまったので、セトル・ジャンは、つききりで看病をしているらしい。

「お目にかかれないで、ジャンさんは、さぞ残念がることでしょう」と、ルノー君。

「もしかしたら、旅の帰りにパリへもどれるかも知れませんが……」

と、私はジャン老人の肖像画と文章がのっている新刊本を出し、「お爺おっつあんにわたして下さい」

こうしようと、ルノー君は手をあげて、
「ちょっと、待って下さい」

「え……？」

「それは、ジャンさんにわたす大切な本ですから……いま、手を洗います」
こういって、ていねいに石鹸で手を洗ってから、本を受け取った。

この間に、ルノー君をたすけて酒場をやっているアメリカの青年が立飲台コントワールの上をきれいに拭いたものである。
この二人の青年の、やさしい神経のくぼり方に、私はまったく感動してしまった。

(この人たちに店をまかせているなら、お爺つあんも安心だろう)
と、おもった。

何とよい青年たちだろう。自分の本を、このようにあつかってくれたことを、b 私は忘れない。

田舎をまわって、冬の足音がきこえはじめたパリへもどった私は、セトル・ジャンに再会することができた。
私たちは抱き合った。

ジャン老人は、女房のポーレットの看病に打ち込むために、煙草も酒も絶ったようで、三年前のときのように
アルコール中毒で手がふるえることもなくなったようだ。

七十を越えて尚、かっしりとした軀からだも、白髪を短く刈りあげた顔も血色がよくなり、私たちと乾杯をしたとき
自分のグラスのペルノーにも形ばかり口をつけただけである。

ポーレットに何か御見舞でもとおもい、
「マダムのお好物は？」

と尋ねたら、セトル・ジャンはニッコリとして、自分の顔を指さした。

(池波正太郎『セトル・ジャンの酒場』)

【6】 傍線部「残念さを」に続く(a)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

- 9 (a) ①こらえ ②とじこめ ③かくし ④かみしめ ⑤おさえ

【解答欄は問 9】

【7】 傍線部「私は忘れない」の前に置く(b)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

- 10 (b) ①なおのこと ②いまもって ③すべもなく ④ことのほか ⑤わけもなく

【解答欄は問 10】

【8】 空欄*に該当する語を、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

- 11 ①大口袴 ②大団円 ③大義名分 ④大見得 ⑤大風呂敷

【解答欄は問 11】

【9】 この文章の筆者の小説の主人公として正しくないものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問 12】

- 12 ①青江又八郎 ②長谷川平蔵 ③秋山小兵衛
④藤枝梅安 ⑤真田信之

【10】 波線部のように記した筆者の思いとして、ふさわしいと考えられるものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問13】

13

- ① 思い通りにならない境遇になったのに、変わる所のない彼のすがたに感銘を受けた、という思い。
- ② 衰えたとはいえ、常に明るく前向きなその姿勢の原動力が何か、確信できてよかった、という思い。
- ③ 老いてもなお人生で大切なことは何かを教えられ、羨ましくもあり見倣わなければ、という思い。
- ④ その変わらないユーモアのなかにある、人生の奥の深さを、改めて認識できた、という思い。
- ⑤ 本当の愛に充ちた二人の時間が、一日でも長く続くよう願わずにはいられなかった、という思い。

三次の間【11】～【15】の傍線部の読み方として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【11】 彼にも漸く、チャンスが回ってきた。【解答欄は問14】
① ようや ② ひさし ③ まもな ④ ちかし ⑤ ほどな

【12】 彼女のやり方に、主任は悉く口を出した。【解答欄は問15】
① しつこ ② まんべんな ③ くだ ④ ことごと ⑤ うるさ

【13】 その患者は、徐に口を開いた。【解答欄は問16】
① ゆるやか ② ふい ③ おもむろ ④ やおら ⑤ たおやか

【14】 学生である以上、須く勉学を第一とすべきだ。【解答欄は問17】
① おとなし ② あまね ③ ぜひもな ④ ひとし ⑤ すべから

【15】 少年は毎日、祖母の介護に勤しんでいた。【解答欄は問18】
① いとお ② いそ ③ いぶか ④ つつ ⑤ いつく

四次の間【16】～【20】の三字熟語のなかで、カタカナで記された言葉の漢字として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【16】 キ羅星【解答欄は問19】
① 綺 ② 機 ③ 奇 ④ 樹 ⑤ 季

【17】 不セイ出【解答欄は問20】
① 生 ② 成 ③ 世 ④ 正 ⑤ 背

【18】 金字トウ【解答欄は問21】
① 灯 ② 棟 ③ 等 ④ 頭 ⑤ 塔

【19】 キョウ頭堡【解答欄は問22】
① 興 ② 経 ③ 教 ④ 橋 ⑤ 郷

【20】 健タン家【解答欄は問23】
① 短 ② 啖 ③ 旦 ④ 丹 ⑤ 胆

五次の問【21】～【25】の作者の作品として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【21】 「遠藤周作」【解答欄は問 24】

- 24
- ① 「山の音」
 - ② 「城の崎にて」
 - ③ 「夜明け前」
 - ④ 「海と毒薬」
 - ⑤ 「麻酔」

【22】 「江國香織」【解答欄は問 25】

- 25
- ① 「理由」
 - ② 「夏の体温」
 - ③ 「きらきらひかる」
 - ④ 「恋」
 - ⑤ 「紙の月」

【23】 「小川未明」【解答欄は問 26】

- 26
- ① 「牛をつないだ椿の木」
 - ② 「泣いた赤鬼」
 - ③ 「龍の子太郎」
 - ④ 「セロ弾きのゴーシュ」
 - ⑤ 「赤い蠟燭と人魚」

【24】 「チャールズ・ディケンズ」【解答欄は問 27】

- 27
- ① 「嵐が丘」
 - ② 「オリバー・ツイスト」
 - ③ 「白鯨」
 - ④ 「そして誰もいなくなった」
 - ⑤ 「カラマーゾフの兄弟」

【25】 「アストリッド・リンドグレーン」【解答欄は問 28】

- 28
- ① 「長くつしたのピッピ」
 - ② 「賢者の贈り物」
 - ③ 「赤毛のアン」
 - ④ 「あしながおじさん」
 - ⑤ 「青い鳥」